

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等」

○クラウド環境を活用したホームルーム

さいたま市ではMicrosoft Teamsのほとんどの機能を開放しているため、各学年や各学級のTeamsのチームを整備し、情報共有や情報交換が積極的にできるようにした。

3年生では、エバンジェリストの教諭が毎日2本ずつコラムを学年チーム及び学級チームに投稿し、生徒たちに見る習慣がついた。

各学年及び学級のチャネル構造はある程度は統一し、どの教職員も教科及びオンライン授業が円滑できるように配慮した。

さらに、昨年度末に新たにリリースされた「Teamsホームページ」を各クラスで活用できるようにし、これまでTeamsのチャネルに書き込みをしていた情報を、Teamsホームページで一覧としてみられるように研究をした。



○日常使いの仕掛け

①持ち帰りの徹底と自宅で取り組む課題の配信

充電のために持ち帰るだけでなく、意図的に自宅で活用する仕掛けを、各教科で取り組んだ。グローバル・スタディ科のReading Progressを活用した「話す」ことの技能向上やレポート作成、授業の予習など、生徒に負荷がかかりすぎないようTeamsでの投稿で互いの教科の様子を確認し、取り組んだ。

②外部コンテストへの参加

さいたま市教育研究会が主催する「メディア作品コンクール」や、民間団体が企画するプログラミングの大会に出品や出場するため、保護者の協力も得て持ち帰った1人1台を活用していた。